

二〇二一年度 大妻中野中学校

第一回アドバンスト入試
第一回グローバル入試

二月一日午前 問題用紙

国語

座 席 番 号
番

受 験 番 号
番
氏 名

受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて8ページあります。
- (二) 試験開始後ただちにページ数を確認してください。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに座席番号と受験番号と氏名を忘れずに記入してください。座席番号と受験番号は算用数字で記入してください。
- (四) 試験時間は五十分です。
- (五) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(ただし、句読点や記号も一字に数えます。)

物事の筋道を「理解し、説明する」力

いまや、①模倣の時代から創造の時代に変わりつつある。

それに合わせて勉強法も変えていかなければならない。

その中核をなすのが、「論理力」なのである。

かつて、算数や数学は、いかに速く正確にこなすかという点で、模倣・模写の訓練に利用されてきた。それは、いまではすべてコンピュータの仕事となっている。

これからの数学は、筋道を理解する能力を養成するものとして、新たな光を当てられるはずだ。本来、数学は、まずその筋道を理解することが要求される学問だからだ。

また、情報社会の中では、文系であろうとも、ある程度は、数学の知識が必要になってくる。

私たちは **W** から **X** への意識改革を求められている。

W とは、すでにある優れた何かを学ぶことであつたが、**X** とは、物事を理解し、その上に立って、さらに一歩前進することである。

X になるために必要なのが、物事の筋道を理解する力、すなわち論理力なのだ。

私は、覚えることは理解することだといった。

物事の筋道を理解する力、ここでも論理力が重要になってくる。

さらに、個々のバラバラな知識を有機的に結びつける力も、論理力である。

もう一つ。これからは国際化時代で、私たちはさまざまな民族と関係

を持つことを余儀なくされる。

人種も文化も異なる人々とのコミュニケーションにおいて、感覚はいっさい通用しない。日本の常識が、相手にとっては **Y** だったりもする。

そういった国際社会の中で、唯一の言語たりうるのがロジックである。そのロジックを理解し、駆使するにも、また、論理力が必要なのだ。

② ②なぜ、日本人は「論理的に考える」のが苦手なのか？

③「他者」という言葉は、どういうニュアンスで使われているだろうか？
単なる「他人」といった粗雑なとらえ方ではダメだ。

A、アメリカ社会を想像してみてほしい。
隣の人は白人かもしれないし、黒人かもしれないし、黄色人種かもしれない。人種も肌の色も文化も宗教も価値観も違う人々の集合体だ。

その中では、感覚などは通用しない。

お互いに、根本のところどうやってもわかり合えないという絶望感が、「他者」という言葉にはある。

ヨーロッパの社会には、根底にこの「他者」という意識がある。

B、日本は同族社会で、お互いになんとなくわかり合えるという安心感のもとに、人間関係を構築しているから、強烈な他者意識が欠けている。

C、論理力が身につかない。

アメリカでは、お互いに理解し合えない他者と、一つの社会をつつていかなければならない。

D、キリスト教の「隣人を愛せよ」といった重石おもしが加わる。

他者との関係を構築するためには、社交術が必要となる。

彼らは、一見したところ明るく友好的だが、その裏では拳銃けんじゅうを手放すことができないでいる。

私たちはそんな彼らの絶望感を理解できない。

理解し合えない人間と取引するためには、お互いにルールを設定し、契約を取り交わす必要がある。西洋は、すべて契約社会である。

さらに、自分を主張し、相手の主張を明確につかむ必要がある。

自分はこうだ、お前はどうかんだ？

互いの立場を明確にして、初めて関係が取り結べるのだ。

日本人のように、相手にすべて曖昧あいまいにぼかされると、彼らは途方に暮れてしまう。

論理的な言語「英語」に学ぶ、ものの考え方

西洋人の意識は、その言語に表れている。

ヨーロッパ語は、what, how, why など、必ず疑問詞が先にくる。

yes, no も冒頭にくる。肯定文か否定文か、あるいは疑問文かが、最初に明らかにされなければならない。

英語に關係代名詞が多いのは、まず自分の立場を明確にし、そのあとに關係代名詞を使って補足説明をしていくからだ。

英語がこのような構造になっているのは、相手に対する根本的な不信感があるからで、そのため互いの立場を明確にしないと、関係が取り結べない。

お互いに理解し合えない者同士が関係を結ぶ手段が、言語である。その結果、言語は論理的なものにならざるを得ない。

さらに、互いに主張し、対決し合い、その結果、互いの共通点と相違点を明確にし、それを踏まえて、どうやって関係が結べるかを探り合う。そこでダイアログ（対話）が発達する。

このように、英語を始めとするヨーロッパ語は、本来強烈な個性を持ったものである。

それはある意味で排他的はいたであったはずなのだが、その強烈な個性ゆえに、逆にいまや世界の共通語になりつつある。

グローバル化が声高こゑたかに叫ばれる時代だが、私たちは国際社会の中でさまざまな国家、民族と関係を持つことを余儀なくされている。

そこで必要なのが、英語の持つ「論理性」なのだ。

ロジックは、互いに理解し合えない者同士が関係を取り結ぶ、唯一の手段なのだから。

世界の国々は、それぞれに異なる文化や歴史を持っている。そして、その歴史の中では侵略、被侵略が繰り返されてきたのである。

そういったものを無視して、人類はみな兄弟なのだから仲良く手を取り合おうでは、机上の空論でしかない。

互いに相手の文化や歴史を認め、対話し、両者の相違点を踏まえたうえで、どうすれば関係を取り結べるのかを模索する。このことが、これからの国際社会では大切なのではないか。

Z

日本のような、歴史認識も曖昧なまま、
では、他の国々はどうやって関係を取り結べばいいのか、途方に暮れるばかりである。

「ロジック」がなければ、世界で通用しない

日本の言語を考える場合、現代の生活感覚で考えてはいけない。

江戸時代までは、日本人は移転の自由も認められていなかった。まさに、土地に縛りつけられていたのである。

だから隣の人間はいつだって同じで、場合によっては、先祖代々同じ家族と隣人づき合いをしなければならぬ。村人は、村の人間一人ひとりを知り尽くして、互いの考え、価値観、好みなど、自明のことなのである。

彼らは与えられた集団とうまくつき合っていく必要があった。

④ 村八分は、死を意味した。いったん集団から排除されたら、生きてはいけない。

そこで、彼らは集団の秩序を何よりも重んじた。その集団は身分社会であった。

それゆえ、日本語は敬語表現が発達していく。角が立つのを極端に恐れるから、*₁婉曲表現が発達する。さらに、すべてをはっきりさせず、曖昧なままにばかりしていく。

お互いわかり合った者同士のコミュニケーションの手段としての言語なのだから、その言語は感覚的なものになる。

日本語においては、疑問文であろうと、否定文であろうと、すべて語尾で決定される。だが、最後まで聞いてみないと、疑問文なのか、否定文なのか、わからないわけではない。

すでに、自明のこととして相手の考えはわかっているのである。

だから、私たちは最後まで聞いて確認する必要はない。

相手の話を真剣に聞いているとき、最後の最後に相手が「うではない」

〔注〕 *₁ 婉曲…表し方が遠まわしなこと。露骨にならないように言うさま。

*₂ 愛撫…なでさすってかわいがること。また、なでさするばかりに深く愛すること。

と、すべてを引っくり返すとは疑われないだけの信頼関係があるのである。私たちは無意識にそれを当然と考えているが、それは相手を信頼していることが前提で、その点で⑤日本語は西洋の言語と根本的に異なっている。

私たち日本人は互いにわかり合っている者同士が言語でコミュニケーションをとっているのであって、信頼できない者はよそ者であり、そもそもそういう人間とは関係を持つとうとはしない。

日本語はいかなれば、*₂愛撫の言語である。

仲のいい者同士が、喫茶店などでたわいもないおしゃべりに興じる。

それは言語で愛撫し合っているもので、私たちはリラックスし、安らぎを感じるができる。

私たちは欧米人のように、言語を闘争の武器とは考えない。

それはそれで、一つの文化である。

平安時代の文化は、こういった極度に洗練された感覚的な言語がつくり上げた、世界でもっとも美しいものの一つである。

だが、いまの時代にあつては、国際社会の流れの中で、世界に向かって発言すべき言語を持たないというのは問題である。

⑥愛撫の言語に「論理(ロジック)」という武器を装備してこそ、初めてこれからの時代を生き抜くことができるのだ。

(出口汪『考える力』を身につける本』フォレスト出版より)

問一 — 部①「模倣の時代から創造の時代に変わりつつある」について、「創造の時代」における学び方にあてはまるものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 古い時代に書かれた有名な文章を暗記する。
- イ. 算数の計算ドリルを何度も繰り返し解く。
- ウ. 複数の実験結果から、その要因を探究する。
- エ. 歴史を学び、成功した事例を同じように実行する。

問二

W

X

 にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. W「先進型」 — X「後進型」
- イ. W「後進型」 — X「先進型」
- ウ. W「前進型」 — X「後退型」
- エ. W「後退型」 — X「前進型」

問三

Y

 にあてはまる三字の熟語を答えなさい。

問四 — 部②「なぜ、日本人は『論理的に考える』のが苦手なのか？」について、その理由を述べている部分を本文から十三字で抜き出さない。ただし、次の（ ）にあてはまるように抜き出すこと。

日本人は、西洋人が持っている（ 十三字 ）から。

問五 文中の

A

D

 に入る言葉として最も適切なものをそれぞれ次のア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア. そのうえ イ. そして ウ. たとえば エ. ところが オ. だから

問六 — 部③「他者」とはどのような存在ですか。「存在」という語句に続くように、本文から二十五字以内で抜き出して答えなさい。

問七 Z にあてはまる慣用句として、最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 嘘^{うそ}も方便 イ. 沈黙は金 ウ. 下駄^{げた}をはかせる エ. 臭いものにはふた オ. 何食わぬ顔

問八 — 部④「村八分は、死を意味した」の「村八分」とは、「ある人や家に対して、地域の生活における十の共同行為のうち、二つの行為を

除いて、地域の交流を断つこと」です。交流を断たれない二つの行為とは、どのようなことだと考えられますか。あてはまるものを次のア～オから一つ選びなさい。また、その選択肢^{せんたくし}を選んだ理由を書きなさい。

- ア. 火事・葬式 イ. 結婚・出産 ウ. 火事・旅行 エ. 結婚・葬式 オ. 出産・旅行

問九 — 部⑤「日本語は西洋の言語と根本的に異なっている」とありますが、日本語はどのような特徴を持っていると筆者は述べていますか。

日本人の他者に対する意識のあり方について触れながら、五十字以上六十字以内で説明しなさい。

問十 — 部⑥「愛撫の言語に『論理（ロジック）』という武器を装備してこそ、初めてこれからの時代を生き抜くことができるのだ」とあり

ますが、この内容と合っているものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 日本語は洗練されている文化だから、今後をもっと美しさをきわめていくことが大切だ。

イ. 日本語は美しいが弱い言葉なので、今後は欧米人の言葉で守ってもらうことが大切だ。

ウ. 日本人は相手と理解し合うために、欧米人のような対話力を身につけることが大切だ。

エ. 日本人は国際社会の中で発言するために、隣人と付き合う方法を強化することが大切だ。

二 次の各問いに答えなさい。

A 漢字に関する問題

問一 次の――部のカタカナは漢字に直し、漢字はその読み方をひらがなで答えなさい。

- ・ 独裁者に自由が①奪われることを②ホウチ国家として認めてはいけない。
- ・ 地球を守ろうと訴える彼女の③シユチヨウは正しいと世界が④認めている。
- ・ 昨日の説明会の動画⑤視聴者数は⑥ノベニ千人を超えている。
- ・ 地方都市にできた新店舗の⑦カンバンはみんなの⑧チュウモクを集めている。
- ・ 彼はこの雨の中でも⑨街頭で⑩シヨメイ活動を続けている。

B ことわざ・慣用句に関する問題

問二 次のことわざには色の名前が入ります。①～③にあてはまる色を語群より一つずつ選び、答えなさい。同じ番号には同じ漢字が入ります。

- ・ ① 菜に塩
- ・ ① 天の霹靂へきれき
- ・ 朱に交われば② くなる
- ・ ② の他人
- ・ ③ 羽の矢が立つ
- ・ 紺屋こうやの③ 袴ばかま

語群

赤・黒・茶・青・白・黄・紫・緑・紺・紅

問三 次の――部のカタカナ語を、日本語に直すとどのような言葉になりますか。
適切なものを語群から選び、ひらがなを漢字に直して答えなさい。

- ① 今朝、インパクトの強いニュースが飛び込んできた。
- ② このホームページはコンテンツが充実している。
- ③ A案ではコストがかかりすぎるから、B案にしましょう。

語群

えいきょう かかく けいこう ししん しょうげき
じょうほうないよう じゅうせんたく たちば ひよう りねん

C 言葉づかい・文法に関する問題

問四 次の各文の――部を正しい敬語表現に直しなさい。

- ① 社長がディナーをお食べ申し上げた。
- ② 昨夜お嬢様は初めて弁当を作った。
- ③ 女王様に大冒険の旅の話をおっしゃろうと思う。
- ④ 先生の資料を見て、やっと論文を仕上げることができた。

問題は以上です

